

教育システム情報学会 企画委員会シンポジウム

『情報化時代に対応した大学入試と能力評価』

企画委員会

1. 開催の主旨

情報技術の進展は教育・学習のパラダイムを大きく変えようとしている。特に、初等中等教育における知識伝達・知識獲得型の教育・学習から知識創造・知識構築型の教育・学習への能力観・評価観の変化である。そして、これらの能力の育成・評価を実現するための様々な研究・開発・実践が行われている。では、高等教育、特に大学進学時においてこれらの能力はどのように測定され評価されるべきなのか。またその方法論にはどのようなものがあるのか。このシンポジウムでは大学入試に焦点を当て、情報化時代における新しい能力観・評価観に基づく学力・能力をどのように測定し評価するのかを理論・実践・技術、そして大学、資格試験、高校の多角的な観点から議論を行う。

2. 開催日時

2004年8月2日(月) 10:00~18:00

3. 会場

聖心女子大学内 宮代ホール(東京都渋谷区広尾)

【地下鉄 日比谷線 広尾駅 徒歩3分】

4. 内容

10:00~ 受付

10:30~10:45 会長挨拶

11:00~13:00 基調講演

(1)『IT技術を用いた新しい試験方式への展望』

池田 央(教育測定研究所)

(2)『新しい学力評価と能力評価の理論』

依頼中

- 昼休み -

14:15~18:00 パネル討論会: 情報化時代に対応した大学入試と能力評価

司会: 松居辰則(早稲田大学), 西野和典(九州工業大学)

話題提供:

・センター試験

(1)『情報関連科目は何を測ったのか?』

植野真臣(長岡技術科学大学)

・特徴ある大学入試

(2)『プレゼンテーション入試の実施と効果』

永野和男(聖心女子大学)

(3)『AO入試のその後』

対馬勝英(大阪電気通信大学)

・資格検定

(4)『デジタルコミュニケーション検定における実技評価』

中村直人(千葉工業大学)

・大学入試(2次試験)に「情報」を実施する大学

(5)『「情報」科目の入試のターゲットと方法論』

辰己丈夫(東京農工大学)

・インターネット利用(e-learning, インターネット入試)の支援技術

(6)『e-Testingにおける諸問題』

吉川 厚(NTT データ)

・実施大学での対応について

(7)『入試業務のナレッジ・マネジメント』

梅本勝博(北陸先端科学技術大学院大学)

・高等学校での対応について

(8)『高等学校では何を教えどう対応するのか』

山上通恵(兵庫県神戸甲北高等学校)